

ふれあい記録

実施日：平成 29 年 4 月 20 日

当番者名：柴崎幸治、吉田千代

コース名：(独自コース 47 回) 奥多摩むかし道

(通し番号 第 129 回)

天 候：晴れ

参加者名： 相川 勲、市瀬英雄、江口正彦、小俣悦男、神谷順子、功力満紀子、柴崎幸治、
新海 昭、西村寿文、田野実裕之、根本邦子、細矢清志、堀井克子、宮原宏至、
山越策次郎、吉田千代、

<ビジター>笠井欣三、鈴木順治、林 洋、舟橋エイ子、

計 20 名 (内、男性 14 名 女性 6 名) (五十音順)

交 通 (時刻)：

JR 川崎駅 南武線立川行 6:54 発—7:53 立川 青梅線 立川発 8:01—8:32 青梅発
8:44 奥多摩行—奥多摩着 9:22 西東京バス 9:30 鴨沢西行—奥多摩湖着 9:45

コースタイム (時刻)：

奥多摩湖 (小河内ダム) 準備体操、トイレ、10:15 出発—むかし道水源 10:30—
浅間神社 11:10—道所橋(吊り橋)11:50—成田不動尊、昼食 12:10~12:40—弁慶腕
抜き岩 13:10—バス停橋詰の上(オレンジタイム)13:30~13:55—^{さいからぎ} 槐 木14:20~14:25
—奥多摩駅到着 14:50

みどころ：甲州裏街道と呼ばれた青梅街道は江戸時代、内藤新宿から甲府に行く生活道路だった
そうだ。昔の人達は山道を通り、急な斜面に石垣を築き、家を建て大変だっただろう
と思いをはせた。現在も住んでおられて、斜面の畑で作業をされていた。

何と言っても好天に恵まれて、美しい山波の新緑と山桜、杉の緑のグラディーション、
深い溪谷、奥多摩湖の上からの見晴らしが感動的でした。

自然観察：春の花々真っ盛り、

山桜、ミツバツツジ、山吹、タンポポ、スミレ、ヒトリシズカ、シャガ、ムシカリ、
黄華鬘草、紫華鬘草、諸葛菜、ヒメオドリコソウ、槐の樹 (あまり見たことがない、
羽子板を作った樹) ウツギ、まむし草、

特記事項：浅間神社、虫歯地藏、牛頭観音様、成田不動尊、耳神様、羽黒三田神社、など神社
や道祖神が多く昔の人達はお医者さんも近くになくて、信仰があつかったのかと思わ
れた。

ハイキングコースの横の杉の木は見晴らしが良いように適宜に伐採されていた。
小河内ダム建設の資材運搬のために建設された、貨物列車の錆びた線路とトンネル、
そして鉄橋(コンクリート橋)があつて、タイムスリップをしたようだった。